

入院のご案内

Hospitalization Guide



この入院案内には、当院に入院される場合の手続きや、
入院中の生活に必要なことが記してあります。
患者さんはもちろん、ご家族の方も
ぜひお読みくださいますようお願いいたします。
入院から退院まで使用しますので、
入院の際には忘れずにご持参ください。



社会福祉法人

恩賜財団

済生会川内病院

済生会川内病院の理念

私達は、保健・医療・福祉を通じて地域社会に貢献します。

基本方針

- 患者さんの尊厳と権利を常に尊重します。
- 医療情報の開示と懇切な説明による開かれた医療を実践します。
- 私たちは常に研鑽し、患者さん本位の、良質で安全な医療を目指します。
- 公的中核病院として、地域の先生方と協力し、救急医療と高度の専門医療の推進に努めます。
- 職員の協調と信頼によって、チーム医療の充実に努め、働きがいのある職場を作ります。

患者さんの権利

- 個人として人格が尊重され、良質な医療を公平に受ける権利があります。
- 病状や治療について、納得できるまで十分な説明を受ける権利があります。
- ご自身が受ける医療について、自分の意志で選択できる権利があります。
- 診療の過程で得られた個人情報やプライバシーは、守られる権利があります。

患者さんの責務

- 自分自身の健康に関する情報を、出来るだけ正確に伝えて下さい。
- 納得、同意された治療に関し、患者さんご自身も積極的に協力して下さい。
- 法令及び病院の規則を守り、他の人の迷惑にならないようご配慮下さい。
- 受けた医療に対して、遅滞なく診療費をお支払い下さい。

子どもの権利

- 子どもは、ひとりの人として尊重されます。
- 子どもは、最善の治療を安全な環境で受けることができます。
- 子どもは、病気や治療方法について、わかりやすい説明を受けることができます。
- 子どもは、自分の思いや考えを家族や病院の人に伝えることができます。
- 子どもの個人情報とプライバシーは、守られます。

職業倫理

- 患者さんの尊厳と権利を尊重し、良質で公平な医療の提供に努めます。
- 患者さんのプライバシーを尊重し、職務上の守秘義務を遵守します。
- 最善の医療を提供するために、常に知識と技術の向上に努めます。
- 医療従事者として相互の立場を尊重し、質の高いチーム医療を実践します。

当院は、個人情報を下記の目的に利用し、個人情報保護に全力で取り組み、その取り扱いには細心の注意を払います。

病院長

当院における個人情報の利用目的について

医療提供

- 当院での医療サービスの提供
- 他病院・診療所・助産所・薬局・訪問看護ステーション・介護支援サービス事業者との連携（かごネット等）
- 他の医療機関等からの照会への回答
- 患者さんの診療のため、外部の医師等の意見・助言を求める場合
- 検体検査業務の委託その他の業務委託
- ご家族等への病状説明
- その他、患者さんへの医療提供に関する利用

診療費請求のための事務

- 当院での医療・介護・労災保険・公費負担医療に関する事務およびその委託
- 審査支払機関へのレセプトの提出
- 審査支払機関又は保険者からの照会への回答
- その他、医療・介護・労災保険、および公費負担医療に関する診療費請求のための利用

当院の管理運営業務

- 会計・経理
- 医療事故等の報告
- 当該患者さんの医療サービスの向上
- 入退院等の病棟管理
- その他、当院の管理運営業務に関する利用

企業等から委託を受けて行なう健康診断等における、企業等への結果の通知

医師賠償責任保険等に係る、医療に関する専門団体、保険会社等への相談・届出等

医療・介護サービスや業務の維持・改善のための基礎資料

当院内において行われる医療実習への協力

院内外で行われる症例研究・学術調査・学会発表・データ分析

（ただし、この場合は氏名等の個人を特定できる情報は利用しません）

外部監査機関への情報提供

医療費の未収金等に関わる債権収納業務委託先への情報提供

付記

1. 上記のうち他の医療機関等への情報提供について同意しがたい事項がある場合は、その旨をお申し出ください。
2. お申し出がないものについては、同意していただいたものとして取り扱わせていただきます。
3. これらのお申し出は後からいつでも撤回、変更等を行うことが可能です。
4. 個人情報の取り扱いについてお気づきの点は、職員までお申し出ください。
5. 診療記録等の開示については、1階受付までお申し出ください。

感染防止のための血液検査について ～職員の感染防止に係る検査についてのお願い～

日頃より医療安全および院内感染防止について万全を期していますが、医療行為(手術、点滴、処置、分娩など)の際、針刺し、切傷、皮膚・粘膜を受傷した場合、職員が感染症に罹患するリスクが高まる事象が発生する可能性があります。

このような事象が発生した際、職員の感染予防のために、速やかに患者さんのウイルス検査をさせていただきます。検査へのご同意を事前に確認いたします。(入院時説明確認および同意書)

検査内容は

- B型肝炎ウイルス(HBV) ●C型肝炎ウイルス(HCV)
- 後天性免疫不全症候群ウイルス(HIV) などのウイルス検査です。

検査の実施にあたっては、患者さんのプライバシーを厳守いたします。

患者さんに不利益になることはありません。また、検査費用については病院が負担いたします。

入院される患者さん・ご家族等の方へ

厚生労働省の指針により“病院”はそれぞれ専門の機能・特長を生かし、地域で役割を分担し、地域全体で一人ひとりの患者さんに質の高い医療を行うことを目標にしています。

当院におきましては、川薩地域の拠点病院として専門的医療や急性期医療などの役割を担っており、患者さんへ迅速に対応できるよう、医療福祉関係機関等に連絡する場合がございます。

また、病状が改善、安定された患者さんには地域の他の医療機関をご紹介します。ご紹介します。

他院受診をご希望される場合について

入院中、他の医療機関への受診(お薬の処方など)を希望される場合には、必ず事前に病棟看護師長にご相談ください。退院後に受診いただく場合があります。あらかじめご了承ください。ただし、入院中に緊急性のある病気が生じた場合は、この限りではありません。

特定看護師が行う特定行為について

特定看護師とは、看護師特定行為研修を修了し高い判断力と技能を兼ね備え、医師の指示の下で手順書に準じて、より高度な診療の補助を行える看護師のことです。

患者さんの状態に応じた適切で質の高い安全な医療をタイムリーかつ迅速に提供することができます。当院は、対象となる患者さんへは事前に説明の上、実施させていただいています。

入院のご案内の目次

済生会川内病院 理念	P1
基本方針	P1
患者さんの権利・責務	P1
子どもの権利	P1
職業倫理	P1
当院における個人情報の利用目的について	P2
感染防止のための血液検査について	P3
入院される患者さん・ご家族等の方へ	P3
他院受診をご希望される場合について、特定看護師が行う特定医療行為について	P3
 入院準備	
入院前の準備	P5
入院の準備	P6
 入院書類	
入院に必要な書類について	P7
医事課・受付窓口へ提出するもの	P7
入院申込書兼誓約書(記載について)	P8
病棟へ提出するもの	P9
高額療養費制度と限度額適用認定証について	P10
 入院生活	
入院当日の流れ	P11
病院の規則について	P12~13
病棟について	P14~15
病室について	P16~17
テレビ・保冷庫について、持参品・貴重品・電気製品等の持ち込みについて	P18
入院中のお食事について	P19
入院生活の流れ	P19~20
付添い・面会等について	P20
医療安全対策について	P21
転倒および転落防止対策について	P22~23
感染対策について	P23
せん妄(せんもう)について	P24
 退院	
退院当日の流れ	P25
お支払いについて	P26~27
各種書類・診断書・証明書など	P27
 ご案内	
患者相談窓口について	P28~29
病院 フロアマップ	P30~31
済生会川内病院 診療科目など・併設	P32
交通のご案内・病院ホームページのご案内	裏表紙

入院前の準備

入院前の検査等

入院前検査、医師・看護師等により入院についての説明、入院書類の説明(配布)

- 入院決定してからも、体調管理・感染対策をお願いします。
体調に問題がある場合には、必ず病院へご連絡ください。

《連絡先》 入院予定の診療科外来 14:00～17:00
代表 0996-23-5221

- 休診日・夜間は防災センター職員の対応になります。

お薬について

現在服用中のお薬を入院前外来(各診療科)で確認します。**必ずご提示ください。**

- 通院されている病院等から処方されているお薬
また、**処方内容の追加・変更された場合**も、必ずお知らせください。
- お薬の情報がわかるもの(お薬手帳・お薬の説明書など)
- 市販薬・サプリメントについても、必ずお知らせください。
*市販薬・サプリメントは入院前から中止していただきます。



アレルギー・体内金属・タトゥー(入れ墨)等について

お薬、お食事、喘息や鼻炎、ゴム・金属などアレルギーを**具体的に教えてください。**

また、体内金属(ペースメーカー・インプラント・人工関節等)・タトゥー(アートメイクも含む)の有無を確認します。**治療・検査など安全に受けるために必ず教えてください。**

ワクチン・予防接種等について

手術・化学療法等の治療を予定されている場合は、**接種前に必ず医師へ確認**をお願いします。



禁煙について

喫煙をされている患者さんには『禁煙リーフレット』をお配りしています。
手術予定の患者さんは、**入院が決まった時から『禁煙』**をお願いします。



歯科治療について

特に手術・化学療法等の治療を予定されている場合は、**入院前までに歯科受診**をお願いする場合があります。



入院の準備

▶所持品は最小限にし、お名前をお書きください。

日用品

- 洗面道具
- <ご自身で歯磨きできない方>
 - 口腔清掃用スポンジ・口腔ケア用ジェル・口腔ケア用ティッシュなど
- 入浴セット(シャンプーやボディーソープなど)
- コップ 1 個(割れないもの)
- ティッシュペーパー
- 履物：かかとを覆う靴
 - (スリッパ・サンダル・クロックス不可)
- イヤホン(テレビ使用・大部屋の場合)
- 予備マスク
- <必要な方>
- ドライヤー
- 電気髭剃り
- 曲がるストローまたは薬のみらく
- 入れ歯がある方
 - 入れ歯を入れる容器・入れ歯洗浄剤など
- 補聴器や眼鏡使用の方(保管用ケースもお持ちください)
- 時計・カレンダー(置くもの)



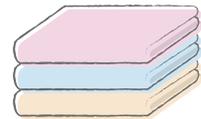
入院に必要な日用品等については院内売店でも販売しています。
*売店については P30 にご案内を記載してあります。

ハサミや刃物(カッターナイフ・カミソリなど)・ライターなど危険なモノの持ち込みは禁止です。



衣類

- 寝衣
 - バスタオル
 - タオル
 - 下着
 - オムツ等使用の方
 - オムツセット(有料)のご利用を推奨しています。
- } 入院セット(有料)のご利用もできます。



ご持参いただくお薬について

入院日、薬剤師により処方されているお薬の内容を確認します。

入院中は、当院でお薬を処方します。

ただし、**特殊な薬剤(院内で採用がない)などの場合は、医師指示等にて入院期間中のお薬をお持ちいただく場合があります。**

- お薬(内服薬) 原則 1 日分
- お薬手帳など(お薬の内容がわかるもの)
- インスリン・血糖測定器を使用の方は器具一式をご持参ください。
- 点眼薬、吸入薬、軟膏なども、ご持参ください。



入院書類など

入院に必要な書類について

入院時に必ずご持参ください

『(手術・検査等)説明用紙と同意書』控え

『入院のご案内』冊子

入院に必要な書類

『入院時説明確認および同意書』

『入院申込書兼契約書』

など



医事課・受付窓口へ提出するもの

ご不明な点につきましては、1階受付窓口でお尋ねください。

診察券

(再発行には手続きと料金 100 円(税込)が必要です)

マイナンバーカードまたは資格確認書、保険証(有効期限内のもの、最長 R7.12.1 まで)

- 保険情報が変更になった場合は、必ずご提示ください。



入院申込書兼誓約書

入院後、3 日以内にご提出ください。

1 入院ごとに 1 枚の提出が必要となります。

- 次ページの注意点を確認いただき、ご記入ください。
- 連帯保証人の方は、押印が必要となります。印鑑(認印)シャチハタ不可



限度額適用認定証・標準負担減額認定証

1 ヶ月の保険診療費が一定金額を超える高額療養費の制度が受けられます。

- 申請手続きは、加入保険によって異なります。
- マイナンバーカードや保険情報からオンラインで限度区分の情報を取得することができます。
- 医療扶助・公費負担医療の申請をされている方や入院後に適用を受けられた方もお知らせください。

介護保険被保険者証

要支援 1 ~ 2・要介護 1 ~ 5 の認定がある方

- 要介護認定の申請中の方はお知らせください。

入院から退院後のサービス調整など、ケアマネージャーと連携を図っていきます。

かごネットカード(登録されたカードをお持ちの方)

- 受付または外来でご提示ください。



病棟に提出するもの

□入院時説明確認および同意書

- 『入院のご案内』冊子 P1～3

病院の理念 患者さんの権利と責務に関する誓約

個人情報保護の利用目的について

病室氏名の表示について

本人以外の病状説明を希望する方について

感染防止のための血液検査について

転倒および転落防止対策について(P22・23)

転倒・転落時の夜間の連絡について

□入院セット申込書(ご利用希望の方)：自己負担 日額 220 円(税込)

- 支払い：入院費と一緒に請求 (1泊2日は2日分になります)

入院セット 利用中止 申込書

申込者住所 _____
 申込者氏名 _____
 患者氏名 _____

私は、入院セットを(利用中止)致したいので下記により申込みます。(該当する方に○をしてください)

① 料 金 (自己負担)

一日入院セット (寝衣・バスタオル・フェイスタオル) 220円(税込)

② 入院料支払時に料金を同時に支払致します。

病 棟 _____ 利用開始日・利用中止日 _____ 病棟担当者(署名のみ可) _____
 年 月 日 _____

※原則として入院セット利用申込書と引き替えでのお渡しとなります。 ① 患 者



□オムツセット申込書(ご利用希望の方)：自己負担

- 負担額は利用プラン(日額)で異なります。
(枚数計算ではなく、利用プランの日額 × 利用日数 = 負担額になります。)
- 支払い：ご利用日の翌月に郵送で届く振込用紙で振り込みいただきます。

オムツセットのご案内

プラン内容 (お申し込み時にお知らせの冊子をご覧ください)

- オムツAプラン (税込1,600円/日) (テープ止めタイプ・パンツタイプ) 1日1枚 (1日換装 1回)
- オムツBプラン (税込1,600円/日) (テープ止めタイプ・パンツタイプ) 2日1枚 (1日換装 2回)
- オムツCプラン (税込2,000円/日) (テープ止めタイプ・パンツタイプ) 3日1枚 (1日換装 3回)
- オムツDプラン (税込1,800円/日) (パンツタイプ) 1日1枚 (1日換装 1回)



□私物衣服洗濯サービス申込書(ご利用希望の方)：自己負担

- ご希望される場合は、外来または入院支援室、病棟へお申し出ください。
申込み用紙をお渡しします。
詳細については、洗濯について(P15)をご確認ください。

高額療養費制度と限度額適用認定証について

『限度額適用認定証』とは、医療機関等窓口で限度額適用認定証を提示すると、医療費が高額になっても1ヶ月(1日から月末まで)の窓口でのお支払いが自己負担限度額までとなり、高額療養費(払い戻し)の申請が不要になります。現在加入の保険者に申請していただくことで交付されます。

また、全額支払い後、以下の該当区分で一定額を超えた場合(医科・歯科別)、その超えた分が高額療養費として、あとでご自身加入の健康保険から払戻を受けることも可能です。

当院では、マイナンバーカードや保険証の情報から、オンラインによる保険資格確認ができます。**患者さんの同意があれば限度額適用認定証の情報をオンラインにて取得することが可能となり、手続きは不要**となります。ご利用の際には、1階受付窓口へお申し出ください。

患者さんが同意されない場合は、ご加入保険者にお問い合わせのうえ、限度額適用認定証の手続きをお願いします。なお、加入されている保険者データを登録されていない場合は、オンライン上で限度額区分を確認することができません。

【注意事項】

1. 食事代、寝衣やオムツ代、個室料など、**保険適用外のもの**は適用できません。
2. 発行期日は原則、申請する日の属する1日になり、**前月にさかのぼっての発行はされません**ので、お早めにお手続きください。
3. **窓口で認定証を提示されなければ、適応されません**ので、**交付後は速やかにご提示**ください。
4. **お支払い後に認定証を提示されましても、さかのぼっての払い戻しは致しかねます**のでご了承ください。

区 分	所得要件	自己負担限度額	4回目以降
上位所得	ア 健保：標準報酬月額83万円以上 国保：年間所得901万円超	252,600円 +(医療費-842,000円)×1%	140,100円
	イ 健保：標準報酬月額53~79万円以上 国保：年間所得600万~901万円以下	167,400円 +(医療費-558,000円)×1%	93,000円
一般所得	ウ 健保：標準報酬月額28~50万円以上 国保：年間所得210万~600万円以下	80,100円 +(医療費-267,000円)×1%	44,400円
	エ 健保：標準報酬月額26万円以下 国保：年間所得210万円以下	57,600円	44,400円
住民税 非課税世帯	オ 住民税非課税	35,400円	24,600円

70歳以上の自己負担限度額	区分	外来のみ(個人単位)		外来+入院(世帯単位)	
		II	I(年金収入80万円以下等)	II	I(年金収入80万円以下等)
(低所得者 住民税非課税)	現役並みⅢ (課税所得690万円以上)	252,600円+(医療費-842,000円)×1% 【140,100円】		252,600円+(医療費-842,000円)×1% 【140,100円】	
	現役並みⅡ (課税所得380万円以上)	167,400円+(医療費-558,000円)×1% 【93,000円】		167,400円+(医療費-558,000円)×1% 【93,000円】	
	現役並みⅠ (課税所得145万円以上)	80,100円+(医療費-267,000円)×1% 【44,400円】		80,100円+(医療費-267,000円)×1% 【44,400円】	
	一般 (現役並み・低所得者以外)	18,000円 (年間上限144,000円)		57,600円 【44,400円】	
			8,000円		24,600円
				15,000円	

(令和7年●月発行時点)

詳しく確認されたい場合は、1階受付窓口にお越しいただき、ご相談ください。

入院生活について

入院当日の流れ

▶ 予定入院の場合、入院前に説明された時間にお越しください。

説明された時間より早く来院されますと、お部屋の準備等に時間を要するため、入院のご案内までお待ちいただく場合がございます。

入院日のお食事や内服についても、入院前に説明されたことを守って来院ください。

受付

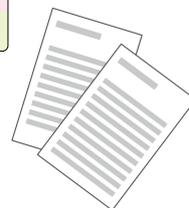
- ▶ 受付は**必ず窓口**で行ってください。
- ▶ 再来機は使わないでください。
- ▶ 体調確認を行います。
- 休診日の入院は、防災センターで受付いたします。



入院手続きに必要な書類を確認します。

- 診察券 ● 入院で必要な場合は、病棟で預かります。
- マイナンバーカードまたは資格確認書(有効期限内のもの、最長 R7.12.1 まで)
- 入院申込書兼誓約書
- 限度額適用認定証・標準負担減額認定証
(マイナンバーカードでオンライン登録ができます)
- 介護保険証(介護認定を受けている方)

※必要なものはコピーをさせていただき、受付後にお返しします。



受付スタッフが入院病棟へご案内します。

▶ 入院前に検査・外来受診等がある場合(必要な方)

受付後、診療科外来へお越しください。
検査および診察等が終了し、入院許可があれば
外来看護師が入院病棟へご案内します。



病棟スタッフが病室にご案内します。

病室準備までお待ちいただく場合があります。

▶病棟は療養の場です。お互い快適に生活できるようご協力ください。

| ごみについて

ゴミ箱は患者さんごとに準備しています。

感染予防の観点から**血液の付いたもの**は、ゴミ箱に捨てずに病棟スタッフへお声かけください。

| 携帯電話・電話について

● 外部からの電話のお取次ぎはできませんので、予めご了承ください。

緊急時は伝言のみお受けいたします。

● 携帯電話は下記を守ってご使用ください。

①通話は所定の場所**(基本デイルーム・渡り廊下・個室利用の方は自室)**でお願いします。

②携帯電話は**院内では必ずマナーモード**にしてください。

③**安静が必要な状態や手術日などの間は、電源をお切りください。**

④医療機器や人の近くでのご使用、検査室(放射線検査・超音波検査・内視鏡検査など)への持ち込み、診療や看護等の妨げにならないよう個人管理をお願いします。

● 電話での病状等に関する問い合わせ・説明について

個人情報保護の趣旨から行っておりません。

ただし、医師が必要と判断した場合、医師等が直接連絡する場合があります。



| 駐車場について

患者さん自身が車で来院し、**入院期間中駐車することは**運営や防犯上の観点等から**原則、お断りしています。**

入退院時は、公共交通機関・ご家族等の送迎をお願いします。

● 万が一ご自分の判断で自動車等の来院、駐車をされた場合、何らかのトラブル・事故等が発生しても、当院は一切の責任は負いません。

| 病院の設備・備品について

患者さんの過失により破損された場合は、修理代等の実費をご負担いただきます。

● 病室内の壁などに押しピンやテープ等で貼り紙をしないでください。

| 院内での無断撮影および録音について

患者さんや職員のプライバシーおよび病院内における個人情報保護の観点から、

カメラ・携帯電話等による撮影・録音行為、SNS等への投稿等の行為はご遠慮ください。

以下のことは医師の許可が必要です。

- ①外出(院内駐車場も含みます)・外泊
口頭などで許可された場合も、許可手続きが必要となります。
事前に病棟スタッフにご相談ください。
- ②入浴・運動
- ③病院から提供される食事等以外の飲食
- ④付添い(滞在)
- ⑤指定された薬以外の薬剤使用(サプリメント・市販薬を含む)
- ⑥入院中の他医療機関の受診

火災・事故防止等について

次のことをお守りください。

- ①窓やベランダから身を乗り出さない。
- ②窓際には物を置かない。
- ③ベッド周辺の床・収納棚の上などに荷物は置かない。
- ④歩行に不安のある方(杖使用など)・
ご気分がすぐれない方(ふらつき・めまいなど)・
点滴中の方などは、エスカレーターを使用しない。
- ⑤駐車場を含む病院敷地内は全面禁煙です。

災害時には
職員の指示に従い
単独行動はとらないでください。
お互い助け合い
落ち着いて行動してください。
エレベーターの使用は禁止

下記に述べる患者さんの事故等については責任を負いかねます。

- ・屋外への飛び出し・無断離院による事故・外出および外泊中の事故
- ・自傷行為
- ・入院患者さん同士の傷害事件
- ・医師・看護師等の許可のない行動による事故
- ・指示された安静度を守れない・徘徊等による転倒事故

▶患者さん・ご家族等、職員の安全確保のため、以下の行為を行った場合は
診療を中断し、退院あるいは敷地内から退去していただくことがあります。

場合によっては、警察へ通報します。

- ◆暴力・暴言・威圧・脅迫・恐喝等の犯罪行為・迷惑行為
- ◆医師・職員の指示に従わず、遵守事項を守れない場合
- ◆病院敷地内での喫煙(電子タバコ含む)および飲酒(ノンアルコール飲料含む)行為

- ▶ナースステーションや職員以外の出入りを禁じた場所に、許可なく立ち入らないでください。
- ▶職員に対する贈物などによる謝礼は、固くお断りいたします。

病棟について

病棟は東側病棟・西側病棟があります。(病棟の構造はフロアマップをご覧ください。)
入院病棟設備等の説明を行います(患者さんの状態に合わせて行います)。

病棟ナースステーション



▶ 病棟内は Wi-Fi が使用できます。
利用規約を確認してください。

● 利用可能時間

8:00~21:30(消灯時間)まで



病棟間の渡り廊下



- ▶ 入院や退院、手術等で来院されたご家族等が待機いただく場所として利用しています。
- ▶ 携帯電話で通話可能な場所です。
4階5階には公衆電話があります。
- ▶ 飲み物の自動販売機があります。



デイルーム



- ▶ 患者さんが休憩できるスペースです。
- ▶ テレビカード販売機があります。
- ▶ 携帯電話で通話可能な場所です。
- ▶ 食堂として利用できます。



テレビカード販売機

| 洗濯について

- ご自宅で洗濯する場合 面会などの際に交換をお願いします。

《注意》 面会制限や面会禁止中は、防災センターでの受け渡しとなります。
防災センターにて 月～土曜日(日・祭日は除く) 14:00～17:00
洗濯物のみとし、食べ物や貴重品はお預かりできません。

- ご自分で洗濯する場合 洗濯はご自身で行っていただきます。



各病棟に洗濯機、乾燥機があります。

- **洗濯用洗剤は各自ご準備ください。**
洗剤は院内売店でも販売しています。
- 干し場はありません。洗濯後は乾燥まで行なってください。
- ▶ 洗濯(1回 100円)
- ▶ 乾燥(1回 30分間 100円)
 - 洗濯の量によって乾燥が十分でない場合もあります。
- **ご利用料金は、テレビカードでのお支払いとなります。**
テレビカードの度数が「140」以上ないと使用できません。



ご利用にあたっては注意事項をご確認ください。

| 私物衣服洗濯のご案内について

入院患者さん個人のお洗濯を代行するサービスです。(業者：カクイックス)
 ご希望の方には、申し込み用紙をお配りいたします。
 外来または入院支援室、病棟へお尋ねください。

【集荷および納品】 **退院時の受け取り忘れにご注意ください。**

月曜日回収 → 木曜日配達

木曜日回収 → 翌週月曜日配達

【料金】

1kgにつき 550円(税込) * 乾燥した状態で 1kg 単位の計算

【お支払い方法】

①口座振替 ②振込 ③コンビニ振込

病室について

- ▶病室は、患者さんの状態に合わせて準備しています。
ご希望の病室を準備できない場合があります。予めご了承ください。



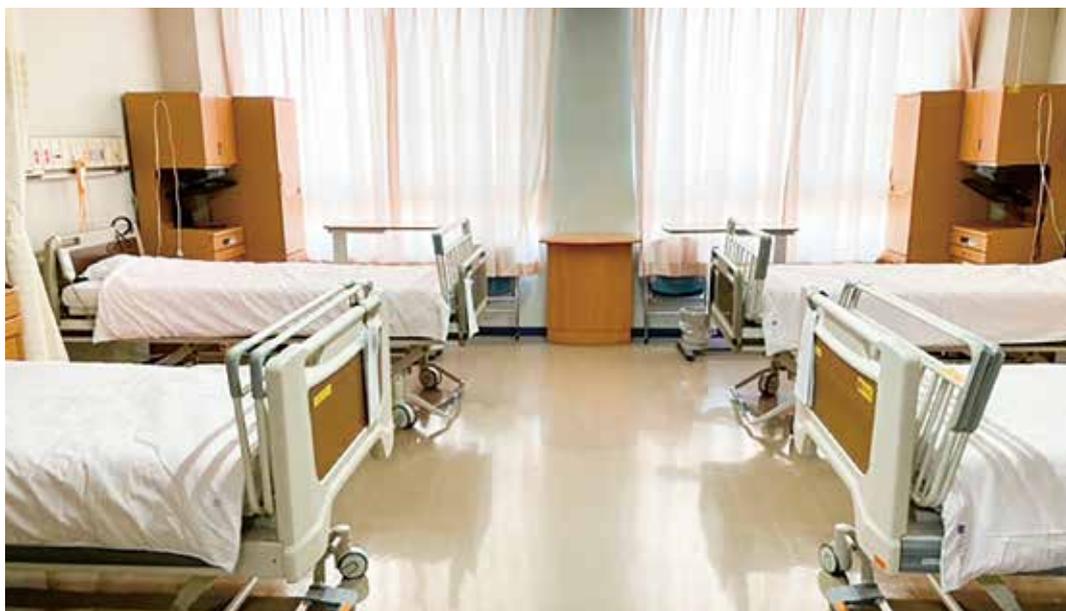
《個人で使用できる設備》

- 整理棚
- テレビ・保冷庫付き床頭台
- オーバーテーブル

オーバーテーブルは動きます。
支えにしたり、もたれたりしないでください。転倒に繋がります。
(P22)

- ▶入院準備は、必要なものだけ(収納できるくらい)にしてください。
- ▶安全面・感染面等から棚の上・床にモノを置かないようにしてください。

大部屋について(2人・4人部屋)



- ▶室料はございません(無料です)。
病室のご希望についてはお受けしていません。予めご了承ください。

個室について

- ▶ 個室には差額室料が必要になります(自己負担です)。
 - **表示している料金は日額**です。入退院日の時間に関係なく、入院日・退院日をそれぞれ1日として計算します。(例えば1泊2日では2日分となります)
 - **設備内容によって室料は異なります。**
- ▶ **病状など個室が必要な方を優先します(緊急・重症・手術など)。**
 - **部屋移動をお願いする場合があります。**
 - **ご希望の病室を準備できない場合があります。**

特別室 11,000円 (税込)

Aタイプ 5,500円 (税込)



Bタイプ 4,400円 (税込)

Cタイプ 3,300円 (税込)

Dタイプ 2,200円 (税込)



▶ 個室 差額室料

特別室	1日あたり	11,000円 (税込)
Aタイプ	1日あたり	5,500円 (税込)
Bタイプ	1日あたり	4,400円 (税込)
Cタイプ	1日あたり	3,300円 (税込)
Dタイプ	1日あたり	2,200円 (税込)

▶ 各病棟の個室数

	特別室	Aタイプ	Bタイプ	Cタイプ	Dタイプ
3階東病棟	1	1	16		
3階西病棟		1	3	14	1
4階東病棟	1	2	3		2
4階西病棟	1	2	8		2
5階東病棟		2	4	8	2
5階西病棟	1	2	2	5	1



テレビ・保冷庫について

- ▶ テレビを視聴するには**テレビカード**が必要です。
 - 大部屋の場合は**イヤホン**が必要です。(院内売店でも販売しています。)
 - 1枚 1,000円で購入いただきます。
(1枚で視聴できる時間は1,400分です)
 - 退院時に、視聴時間が残っているテレビカードは、
精算機にて残分数に応じて返金されます。



入院準備

▶ テレビカード 販売機設置場所

各病棟デイルーム
1階防災センター前



▶ テレビカード 精算機設置場所

1階 正面玄関
公衆電話横



入院書類

- ▶ 保冷庫(冷凍はできません)は無料で利用できます。
 - 提供された食事で食べた残りを取置くことは禁止します。
 - ゼリーやヤクルトなど未開封のものは保管できますが、
賞味期限にご注意ください。
 - 購入されるもの(飲み物・食べ物)、持ち込みについては必ず
病棟看護師に確認ください。(制限等がある場合があります。)



入院生活

持参品・貴重品・電気製品等の持ち込みについて

- ▶ 貴重品はご自身で管理をお願いしています。
紛失・破損・盗難等に関しては、当院では責任を負いかねます。
 - **必要以上の現金・貴重品は持ち込まない。**
 - **貴重品は必ず鍵付きの引き出しに保管する。**
 - **部屋を離れる場合は施錠し鍵は必ず手元にお持ちください。**
- ▶ 入れ歯・補聴器・眼鏡・コンタクトレンズ・装飾品など個人の
物品をお持ちになる場合は、患者さん・ご家族の責任において
管理(保管)してください。
- ▶ パソコン等の電気製品を持ち込まれる場合は、お知らせください。
使用できない場合(電源など)もあります。



保管は鍵付きの引き出しで!

退院

ご案内

入院中のお食事について

お食事は温冷配膳車で下記の時間に提供をいたします。

朝食 8:00

昼食 12:00

夕食 18:00

幼児おやつ 10:00・15:00



- 衛生管理上、調理後2時間以上経過した食品は患者さんにお出しできません。
- 調味料や差し入れ等の持ち込みは治療に差し支える場合がありますので、ご遠慮ください。

食事は1食ずつ費用(自己負担)がかかります。
オーダーストップ(食事の取り消しの締め切り時間)について

朝食……前日 16:00 まで

昼食……当日 11:00 まで

夕食……当日 16:00 まで

- 時間が過ぎてからの欠食(自己都合での食事中止)については食事代が必要となります。
- 医師の指示による絶食等については食事代の必要はありません。

入院生活 1日の流れ

6:00	点灯 採血予定のある方・検温等(必要な方)
8:00	朝食
9:00	検温 検査・リハビリ等(必要な方)
12:00	昼食 検温等(必要な方) 検査・リハビリ等(必要な方)
18:00	夕食 検温等(必要な方)
21:30	消灯



- 夜間も看護師が巡視など行います。

シャワー浴について

各病棟に浴室があります。

- 清潔ケア・シャワー浴などについては担当スタッフのご案内します。
- ご利用は予約制となります。
- 入浴については原則できません。

【ご利用時間】月～土曜日 9：00～17：00 まで(17：00 施錠します)

- ご利用方法は、入院後に病棟にて説明します。
- ご利用については、医師・看護師の指示に従ってください。
- ご利用の際の転倒等に、十分ご注意ください。

《個室の場合》

ご利用時間は、消灯(21：30)までにお済ませください。



付き添い・面会等について

▶ 付き添いについて

原則、付き添いの必要はありません。状況により医師がお願いする場合があります。

- 付き添い時には『家族等在院許可願』の提出が必要となります。

▶ 面会について

- 病棟ナースステーションで面会手続き(面会者票の記載・問診項目記載)をし、面会許可書の取得が必要です。
- 面会をされる場合は下記のことを、必ず守ってください。
(P23 感染対策についてもご確認ください)
 - ・ **必ず院内ではマスクの着用**をお願いします。
 - ・ **面会中の飲食は禁止**しています。
 - ・ 面会は **16 歳以上**の方としています。
 - ・ **発熱や風邪症状があるなど体調不良の方の面会**はご遠慮ください。

【面会時間】 14：00～16：00(医師の判断により例外もあります)

【面会条件】 1日1回 15分以内

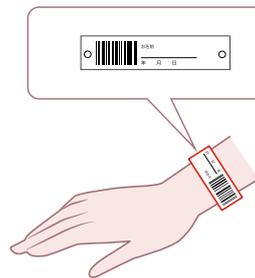
1回に2名まで

※面会は感染症流行などのため、急遽制限や禁止となる場合があります。

安全対策について

▶患者間違い防止対策

- 全患者さんに**リストバンド**を装着します。
- 患者さんには確認の際に『フルネーム』でお名前を名のっていただきます。



▶飲酒(ノンアルコール含む)・喫煙(電子タバコ含む)禁止

病院敷地内(駐車場も含む)すべての場所
付き添いの方・来院される方(ご家族等含む)
すべての方が対象です。



▶医師許可のない食べ物や調味料などについては原則持ち込みは禁止しています。

▶無断での外出・離院など院外へ出られる行動は禁止しています。事件事故などの危険性があります。

- 日頃徘徊など患者さんの行動で気になることは、事前にお知らせ下さい。

▶ハサミや刃物(カッターナイフ・カミソリなど)・ライターなどの危険なモノは持ち込みを禁止しています。

- 髭剃りにつきましても、電気カミソリ等をご準備にご協力ください。

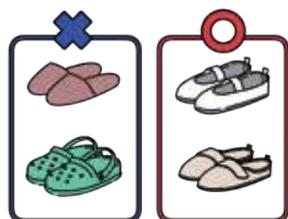
▶入院にあたって

- コンタクトレンズ・眼鏡や補聴器は、破損・紛失にご注意ください。
- ピアス・指輪などアクセサリーや時計等の貴金属は、紛失や電気を使用する治療の際にやけどをする可能性があるため、入院前にはずしてください。
- 指輪については、入院前にはずれるかを確認してください。
入院し緊急時に外れない場合は、カッターで切断する場合があります。
- 化粧品は、顔色など確認が必要のため使用しないでください。
治療や手術などは、化粧品は落としていただきます。
- つけまつ毛・まつ毛エクステは、入院前にはずしてください。
- マニキュア(ジェルネイル・付け爪)は入院前に除去し、長い爪も怪我に繋がる場合があるため爪切りをお願いします。
- エクステンション、かつら・ウィッグは、入院前にはずしてください。
ただし、必要とする場合には、入院前に看護師等にお知らせください。

転倒および転落防止対策について～安全な入院生活を送っていただくために～

病院の環境は、それまで住み慣れたご自宅等の環境とは異なります。その生活環境の変化に、病気やケガによる体力や筋力の低下が加わり、思いがけない転倒や、ベッドから落ちたりすることがあります。状況に応じて危険性が高い場合は予防策を検討し、安全に過ごせるよう取り組んでおりますが、入院される患者さんおよびご家族等にも、対策についてのご理解とご協力をお願いいたします。

▶ 普段履き慣れた、**かかとを覆っている靴タイプ**をご準備ください。



院内売店でも販売しています。



スリッパ・サンダル・クロックス等は、転倒の原因になります。

▶ ベッドの使い方

ベッドからの転落を防ぐためにベッド柵を活用しましょう(両側必ず使用)。



- 寝たままの状態、ベッド上に立つ、ベッド上から覗き込むなどの態勢からモノを取らないようにしましょう。
- ベッドから降りる時は、ベッド柵が固定されていることを確認しましょう。
- ベッドから下りる時は、両足をしっかり床につけてから降りましょう。
- 夜間消灯後は、枕灯をつけ目が慣れてから動きましょう。
- ベッド柵やベッド柵間に、身体が挟まらないように注意しましょう。

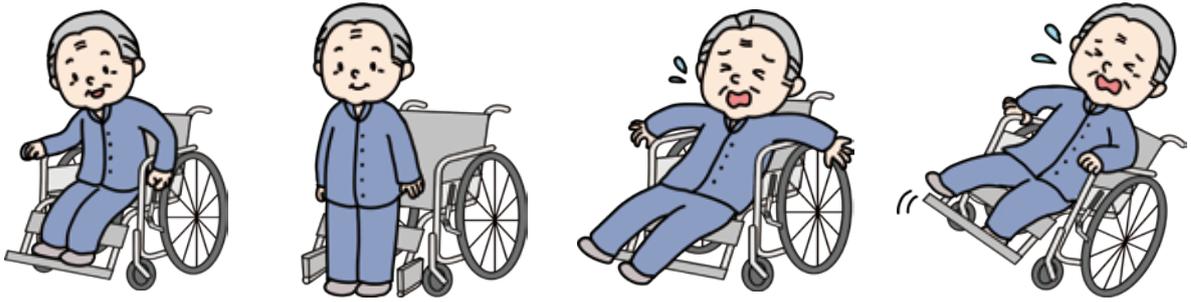
▶ 動くものに注意しましょう

点滴スタンドやオーバーテーブルを使っている時に気をつけること



- エレベーターやトイレに出入りする時は、キャスターがつまづかないように注意して移動しましょう。
- 点滴スタンドのフックがカーテンの阿米部分に、引っかかる可能性があるため注意して移動しましょう。
- オーバーテーブルにはストッパーがないので寄りかかって滑らないようにしましょう。

▶ 車椅子は正しく使用しましょう



- 車椅子の停止時にはストッパーブレーキを必ずかけましょう。
- 車椅子にしっかり移った後に足台に足を乗せましょう。
- 車椅子から降りる場合には足台を必ず上げましょう。
- 車椅子に浅く座っていると、ずり落ちてしまう可能性があるため深く座りましょう。
- 背もたれに体重をかけすぎないように、注意しましょう。
- 特に酸素ボンベ使用時には、バランスが不安定になっている場合があります。

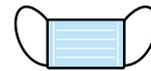
感染対策について

入院中は病気や治療の影響などにより、普段よりも免疫力の低下した方も多くいらっしゃいます。ご自身を感染症から守るとともに、院内へ感染を広げないために以下のことについてご協力ください。

▶ 発熱・体調不良などある場合は、必ずお知らせください。



▶ 病室に入る時・出る時、食事前、トイレの後などは、こまめに手洗いや手指の消毒を行いましょう。



▶ 病院内は、熱や咳などがある場合、マスクの着用とうがいを行いましょう。

▶ 発熱、咳、発疹、下痢、嘔気や嘔吐、目の充血などの症状がある方は、面会をご遠慮ください。

▶ 感染症の広がり防止のために、個室隔離・面会制限・面会禁止をお願いする場合があります。また、状況により防護具(マスク、手袋、エプロン・ガウン、ゴーグル)などを装着して処置を行います。

▶ 植物や生花など花瓶や鉢などの水は、時間が経つと細菌が繁殖しやすく感染症の原因になりますのでご遠慮ください。



せん妄(せんもう)について

「せん妄」とは、体調が悪い・手術の後・新しい薬が身体に合わないなどの原因で、意識が混乱することです。すべての方に見られるわけではありません。

▶せん妄になりやすい人とは…

- 高齢の方
- もの忘れが目立ってきた方
- 脳梗塞や脳出血になったことがある方
- アルコールをたくさん飲む習慣がある方

「気持ちの持ちよう」や「こころの問題」に思われがちですが、そうではありません。

また、同様に認知症になったわけでもありません。

からだの症状のひとつなので、多くの方は適切な治療により回復します。

▶患者さんご家族等ができること

- つじつまが合わないお話があっても、無理に正す必要はありません
- 朝から日光を取り込んで部屋を明るくしましょう
- 普段使用されている眼鏡・補聴器は正しく着用しましょう
- 時計・カレンダーなどを近くに置いて一緒に日時を確認をしましょう
- 睡眠リズムを整えるために、日中の活動の助けとなるものを活用しましょう
本・新聞・テレビ・ラジオ・軽い運動など
- 痛み・便秘等、患者さんの気になっている症状は早めに医療者に相談しましょう
- せん妄が起こったらハサミなどの危険物は近くに置かないようにしましょう

時間や場所等の感覚が鈍くなる



幻覚が見える



怒りっぽくなる(大声を出す)



落ち着きがない(点滴などを抜いてしまう)



話していることをつじつまが合わない



退院するとき

午前中の退院でご協力お願いいたします。

退院当日の流れ

会計 医事課職員が病室へ『入院費について』請求書を持参します。

- 休診日(時間外)は、後日(平日)計算となります。



- 現金またはクレジットカード、デビットカード、デビット機能のついたキャッシュカードでお支払いいただけます。

※院内にATMはありません。

1階会計(支払い)窓口 お取扱時間 月～金 9:00～17:00
土 9:00～12:30

※ただし、祝祭日・年末年始・第1・3・5土曜日は除く

支払いについてのご相談も1階会計窓口へ。

例)現金で支払う予定だが、ATMがない。退院後でもいいのかな？

休みの日に退院ですが…支払いはどうすればいいですか？

お支払い後の領収書は確定申告の申請等に必要ですので、大切に保管されますようお願いいたします。紛失されても再発行は致しません。

会計後『退院許可証』をお渡しします。

退院許可証は病棟スタッフへお渡しください。

外来受診または入院について(または再入院について)、
退院処方渡し・持参薬返却など、看護師等が説明いたします。

退院



お支払いについて

入院費用の計算方法について

入院費用の計算は **DPC(診断群分類別包括評価)方式** により計算されます。

当院は、厚生労働省より DPC の対象病院に認可されています。入院費につきましては、診療行為ごとに算定する『出来高払い』の計算ではなく、患者さんの病名、診療内容に応じた『診断群分類』ごとに設定された 1 日当たりの定額の医療費を基本として計算を行っています。

当院の入院医療費の計算方法

DPC(包括評価)方式

病名や診療内容に応じた『診断群分類』ごとに設定された包括点数を基本として計算する方法

包括評価部分

病名や診療内容に応じた 1 日あたりの定額

- ・入院基本料
- ・投薬料
- ・検査料
- ・注射料
- ・画像料
- ・処置料(1,000 点未満)

+

出来高払い部分

- ・基本料の加算の一部
- ・退院時投薬
- ・放射線治療
- ・内視鏡検査
- ・診断穿刺、検体採取
- ・リハビリ
- ・人工透析
- ・手術料
- ・麻酔料
- ・病理、画像診断判断料など

食事料

その他自費

包括評価部分の合計 + 出来高払い部分の合計

= 入院医療費

従来 of 計算方法

全て出来高払い

診療行為を行った回数または使用した量を積み上げて医療費を計算する方法

- ・入院基本料
- ・投薬料
- ・検査料
- ・注射料
- ・病理診断料
- ・処置料
- ・画像診断料
- ・手術料
- ・リハビリ
- ・麻酔料
- ・その他医学管理料等

食事料

その他自費

= 入院医療費

DPC の対象とならない場合(従来通り出来高払いが適応されます)

- ・「診断群分類」のいずれにも該当しない場合
- ・労災保険や公務災害が適応される場合
- ・正常分娩や交通事故等で自費扱いとなる場合

入院期間が180日を超える場合の入院費について

同じ症状による通算のご入院が180日(同じ症状で入院していた他の医療機関での期間を含む)を超えますと、患者さんの状態によっては健康保険からの入院基本料 15%が病院に支払われません。

180日を超えた日からの入院が選定医療対象となり、当院で定められている金額(1日につき2,532円)は特定療養費として患者さん負担となります。

入院中の診療費の請求について

入院中の入院診療費は、毎月末に1ヶ月分をとりまとめ、翌月の15日以降に請求金額のご案内とお支払いができます。

※請求金額の照会は、1階受付・会計で直接お問い合わせいただくか、電話でお問い合わせください。

医療費未収金回収業務委託について

当院では、適切に医療費を収めていただいている方との負担の公平性を確保し、病院経営健全化を目的として、医療費未収金回収業務の一部を下記の司法書士事務所に委託しております。

なお、一定期間内にお支払いされていない方には、下記の司法書士事務所からお支払いについてのご案内をいたしますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

【委託する者】

所在地 : 薩摩川内市鳥追町13番18号 川内駅前 SENビル2階
名称 : さつま中央司法書士事務所
司法書士名 : 認定司法書士 山本豪太

各種書類・診断書・証明書など

1階受付窓口で対応いたします。

分類	形式	金額
診断書・証明書	普通診断書	1,100円(税込)
	身体障害者認定診断書	2,200円(税込)
生命保険関連	入院証明書 ★1	5,500円(税込)
	死亡診断書	4,400円(税込)

★1. 退院後に作成依頼をお受けします(入院中はお受けできません)。

交通事故関連、その他の証明書(支払い証明・その他診断書・公立学校医療証明書)等につきましても、1階受付窓口にお尋ねください。

書類は作成依頼をいただいた後、2週間前後お時間をいただいております。



ご案内

患者相談窓口について

当院では患者さん・ご家族等が、安心して快適な医療を受けられるように相談窓口を設置しております。窓口では医療に関するご相談、何か疑問に思われる事や不安等がございましたらお気軽にご相談ください。

- 相談内容に応じて関連部署と連絡を取り対応いたします。
- 相談内容については、守秘義務を厳守いたします。
- 相談された患者さん・ご家族等が、不利益を受けることがないように十分配慮いたします。

【窓 口】 1階 健康福祉課

済生会川内病院 代表電話 0996-23-5221

【日 時】 平日 月～金曜日 8:30～17:00

第2・4土曜日 8:30～12:30

- 第1・3・5土曜日、日祝日、年末年始 12月29日～1月3日はお休み

【場 所】 患者相談室

無料・低額診療事業のご案内

無料・低額診療事業とは、社会福祉法第2条第3項に規定する生活困難者のために無料または低額な料金で診療を行う制度です。

経済的理由により診療費の支払いが困難な方や、低所得の方が対象です。

※病院での診療費のみが対象となるので、入院中の食事代、寝衣やオムツ代、個室料などの保険外負担分については対象外です。

医療安全に関する相談について

患者さんやご家族等に安心して医療を受けていただくため、医療安全に関するご相談・ご質問に対応しています。

セカンドオピニオンについて

当院は、セカンドオピニオンの相談に応じています。

セカンドオピニオンとは、患者さんの病状・治療内容や今後の治療方針について、主治医ではない医師からの意見を求めることです。患者さんには、他の医師および他の医療機関の意見を求める権利があります。

入退院支援について

外来受診時（外来時）または入院早期より院内の各種専門職や地域と連携し、退院後も住み慣れた自宅や施設等、療養の場で安心して生活を送ることができるよう、生活の準備を整える支援を行っております。

入院中は相談員（ソーシャルワーカー・看護師等）が担当いたします。

がん相談支援センターについて

当院は「**地域がん診療連携拠点病院**」です。がんに関する患者相談窓口（がん相談支援センター）があります。相談内容は本人の了解なしに他の方に伝わることはありません。

患者会「花みずき会」もあります。

緩和ケアについて

緩和ケアは、重い病気を抱える患者さんやそのご家族一人ひとりの身体やこころなどの様々なつらさをやわらげ、より豊かな人生を送ることができるように支えていくケアです。

当院は、日本の法律に基づき、がんと診断された時から治療と共に「緩和ケア」が提供できる体制を整えています。

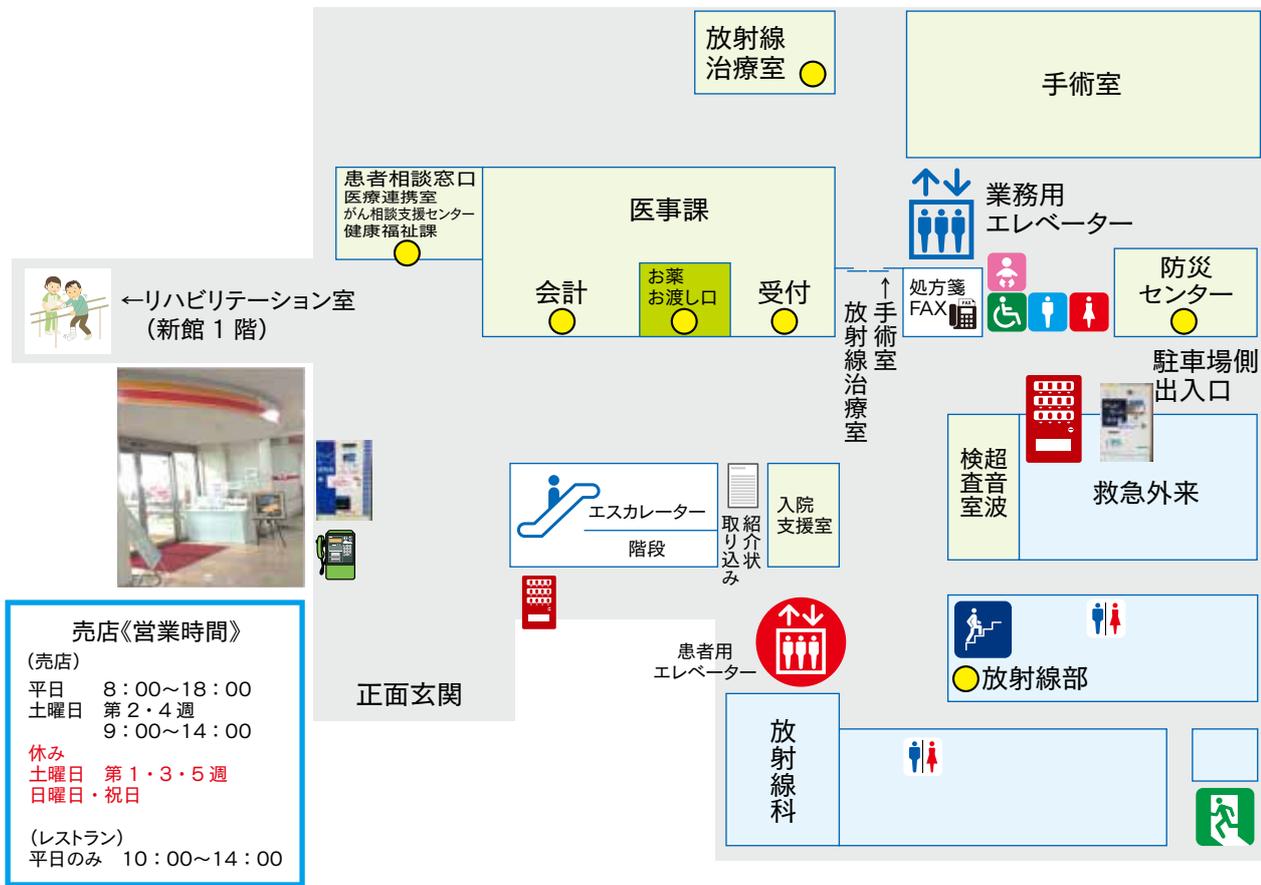
患者さんの希望する生活を支えるための話し合い「人生会議：アドバンス・ケア・プランニング」にも取り組んでいます。

各専門家で構成された「緩和ケアチーム」もありますので、つらいと感じた時には主治医や看護師等にご相談ください。

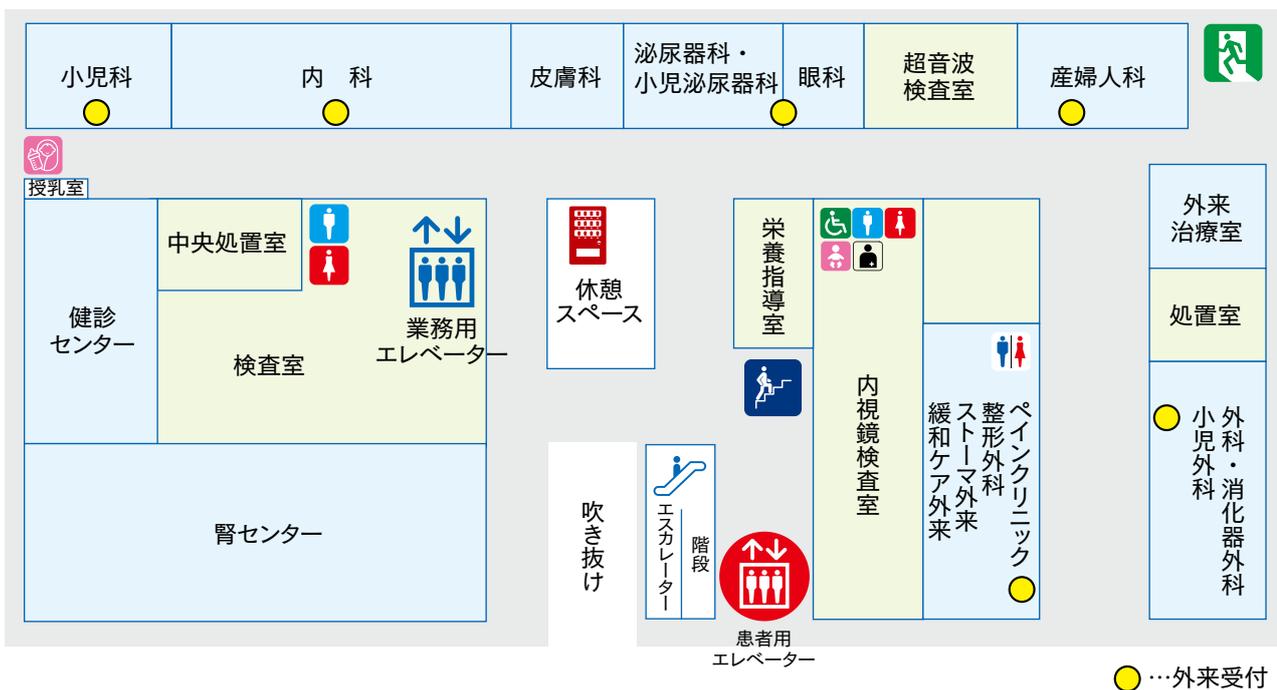


病院 フロアマップ

| 1階(受付・会計・放射線科・患者相談窓口 他)



| 2階(外来・検査室)



入院準備

入院書類

入院生活

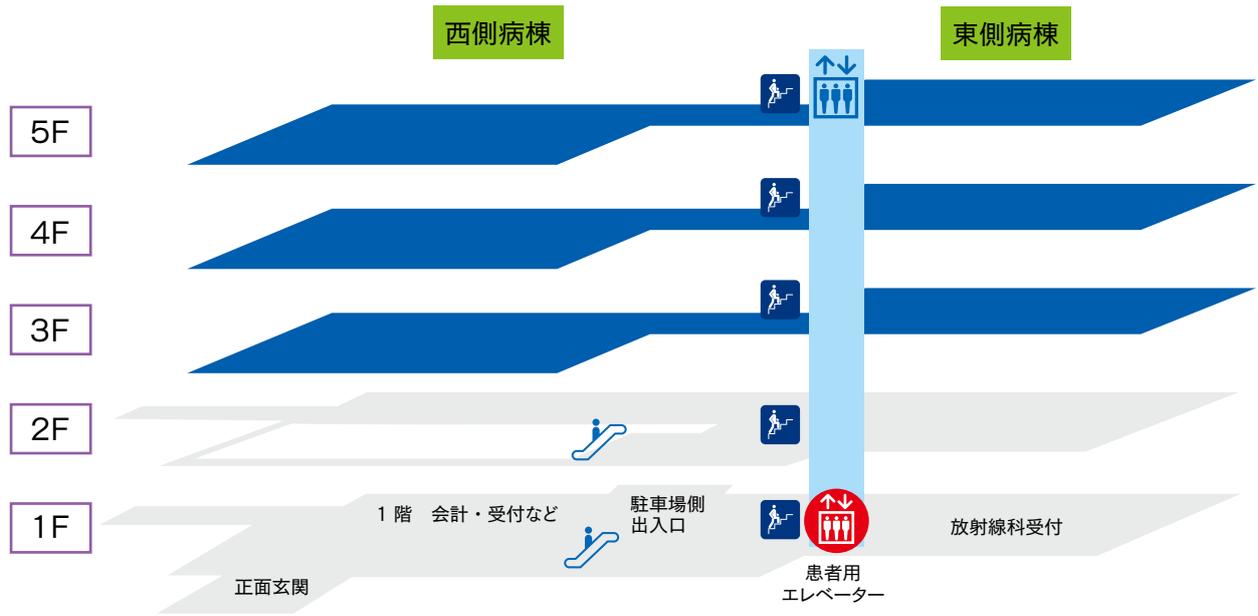
退院

ご案内

| 病棟(3階・4階・5階)

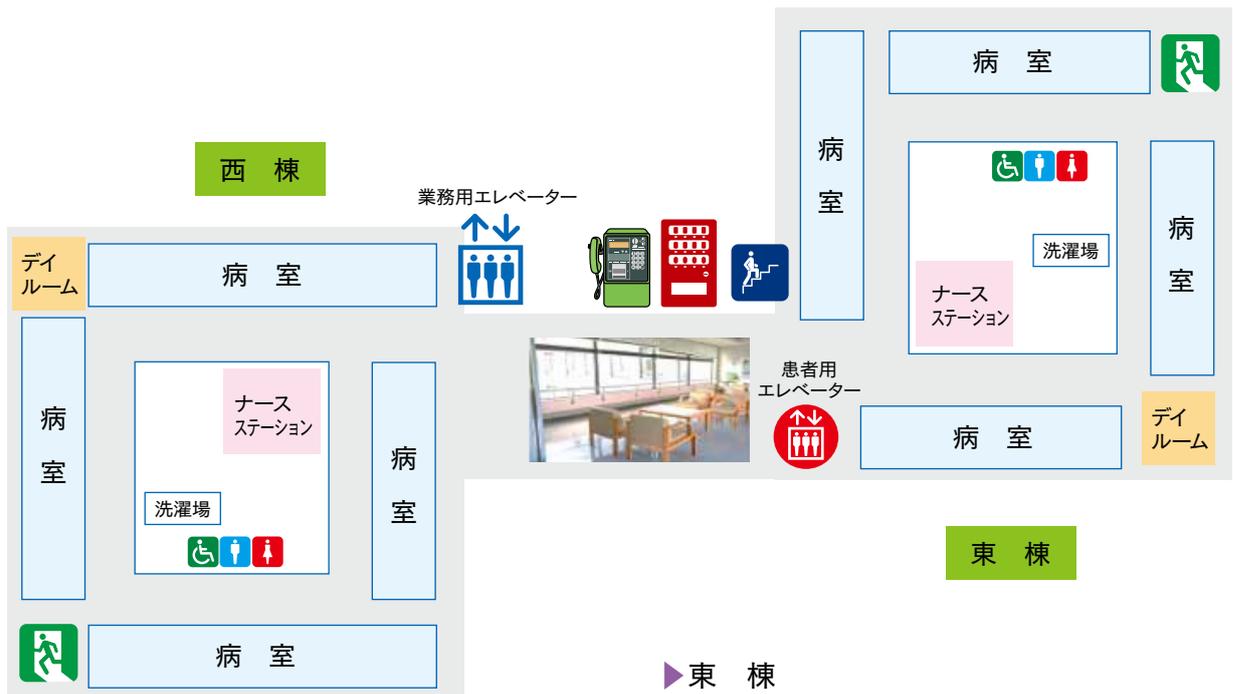
入院準備

入院書類



入院生活

退院



▶ 西 棟

- 3階西病棟
351号室～386号室
- 4階西病棟 外科・消化器外科、内科
451号室～478号室
- 5階西病棟 内科
551号室～578号室

▶ 東 棟

- 3階東病棟
産婦人科・小児科・内科・外科
301号室～332号室
- 4階東病棟 内科、皮膚科
401号室～422号室
- 5階東病棟
泌尿器科・小児泌尿器科、放射線科、
小児科、小児外科、内科
501号室～530号室

ご案内

済生会川内病院

診療科目

内科、消化器内科、小児科、外科・消化器外科、小児外科、整形外科、皮膚科、眼科、泌尿器科・小児泌尿器科、産婦人科、放射線科、麻酔科、病理診断科

専門外来

肝臓病、糖尿病、消化器、循環器、腎臓病、呼吸器、血液疾患、血液透析・CAPD(腹膜透析)、内視鏡の治療、発達外来、ストーマ外来、助産師外来、アレルギー外来

特殊診療他

救急医療、リハビリテーション、1日ドック・1泊2日ドック・協会けんぽ生活習慣病予防健診・各種健康診断・各種生活習慣病予防健診、栄養相談、医療相談、がん相談、訪問看護、在宅医療(在宅酸素・腹膜透析)、ペインクリニック

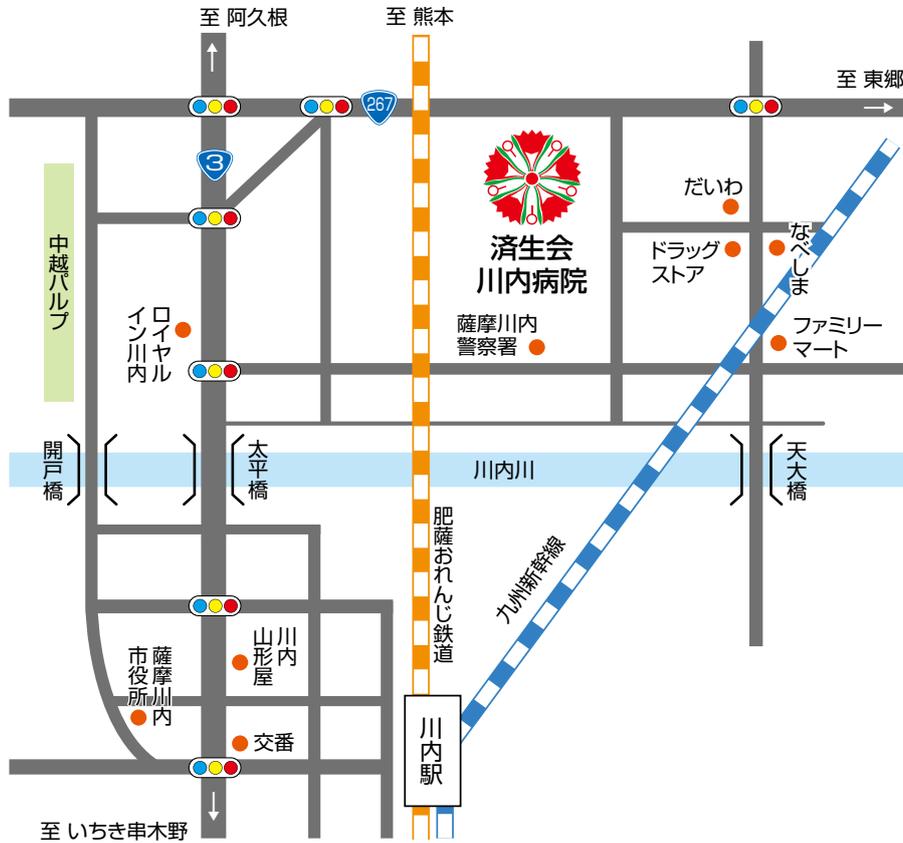
併設

- 居宅介護支援事業所せんだい
介護保険の相談に応じます
- 訪問看護ステーションせんだい
在宅に看護師が訪問します
- 訪問介護ステーションせんだい(居宅・障害)
ホームヘルパーが家事と介護をお手伝いします
介護保険法と障害者総合支援法に基づくヘルパー事業を実施しています
- なでしこ保育園



お気軽にご相談ください

交通のご案内



<バスご利用の場合>

- 【停留所】 済生会川内病院前
(病院正面玄関に停まります)
- くるくるバス 東回り・西回り
 - いわさきバス
 - 南国バス

<自家用車タクシーの場合>

川内駅(西口)から10分程度



社会福祉法人 恩賜財団 済生会川内病院

〒895-0074 鹿児島県薩摩川内市原田町2番46号
 TEL(0996)23-5221(代表) FAX(0996)23-9797
 ホームページアドレス <http://www.saiseikai-sendai.jp>
 メールアドレス info@saiseikai-sendai.jp



2025年6月 発行